

みずほCustomer Desk Report 2022/02/24 号 (As of 2022/02/23)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	115.10	1.1330	130.41	1.3589	0.7227
SYD-NY High	115.20	1.1359	130.71	1.3620	0.7284
SYD-NY Low	114.93	1.1301	129.95	1.3537	0.7218
NY 5:00 PM	115.01	1.1305	130.03	1.3545	0.7232

NY DOW	33,131.76	▲ 464.85	日本2年債	-	-
NASDAQ	13,037.49	▲ 344.03	日本10年債	-	-
S&P	4,225.50	▲ 79.26	米国2年債	1.6046	4.42bp
日経平均	-	-	米国5年債	1.9083	4.15bp
TOPIX	-	-	米国10年債	1.9973	5.40bp
シカゴ日経先物	26,335.00	▲ 325.00	独10年債	0.2220	▲ 1.85bp
ロンドンFT	7,498.18	3.97	英10年債	1.4735	0.30bp
DAX	14,631.36	▲ 61.64	豪10年債	2.2530	6.60bp
ハンセン指数	23,660.28	140.28	USDJPY 1M Vol	6.40	▲ 0.30%
上海総合	3,489.15	32.00	USDJPY 3M Vol	6.48	▲ 0.33%
NY金	1,910.40	3.00	USDJPY 6M Vol	6.73	▲ 0.28%
WTI	92.10	0.19	USDJPY 1M 25RR	-0.89	Yen Call Over
CRB指数	268.323	1.20	EURJPY 3M Vol	8.43	▲ 0.27%
ドルインデックス	96.19	0.16	EURJPY 6M Vol	8.43	▲ 0.21%

東京	アジア時間のドル円は115.10レベルでオープン。日本休日となる中、ドル円は朝方にやや下落し115円ちょうどをつけたものの、リスク回避が一服してアジア株が持ち直しの動きを見せたことを受け、ドル円の下値も限定的となった。その後は115円台前半の狭いレンジ内でもみ合い、結局、115.05レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン時間ドル円は115.05レベルでオープン。ロシアとウクライナ関連の大きな動きは無く、様子見ムード。米長期金利や欧州株が堅調に推移するも反応薄。終始15銭以内での小幅推移となり、115.12レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	東京市場が祝日で休場となる中、海外市場のドル円は115円ちょうど付近で方向感無く推移。ウクライナ情勢への警戒感が上値を抑えるも、欧州株高を受けて上昇したクロス円によって下値をサポートされ、115.12レベルでNYオープン。朝方は114.97まで下に押す場面もあったが、米10年債利回りが2%付近まで上昇する動きを眺めた買いが強まり、115.20まで上昇。しかし「ウクライナ政府関連のウェブサイトにサイバー攻撃」などのヘッドラインが飛び交う中、更なる上値追いは限定的だった。午後はリスクオフムードが再び広まり、マイナス圏に沈んだ米株の下げ幅拡大を眺めながら円が買われ安値114.93まで下落。しかし、欧州通貨に対するリスクオフのドル買いも同時に強まっていることからこの水準で下げ渋る。終盤はじりじりと上昇し115.01レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.13台前半でスタート。アジア時間は動意乏しく推移。欧州時間に入ると独3月GfK消費者信頼感指数が予想以上に悪化したことから1.1317まで売られるが、その後は欧州株の堅調推移を眺めながら買い戻され1.1359まで上昇。前日高値(1.1367)手前で上値が重くなり、小幅反落後、1.1338レベルでNYオープン。朝方は1.1352まで上昇するが、その後は米株の軟調推移を嫌気したユーロ円の売りが重しとなり、1.1300付近まで下落。午後ユーロ円の売りが重しとなり、安値圏で推移するが、1.13レベルは維持。終盤に小幅反発し、1.1305レベルでクロス。

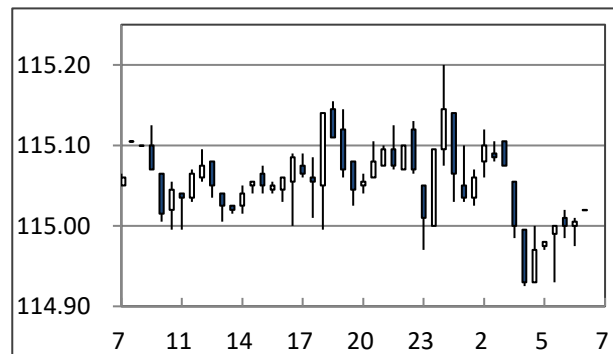
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月23日	16:00	独 GfK消費者信頼感	3月 -8.1	-6.3
	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	1月 0.3%/5.1%	0.3%/5.1%
	19:00	欧 コアCPI・確報	1月 2.3%	2.3%
2月24日	05:30	米 デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演	「少なくとも年内4回の利上げを支持」	

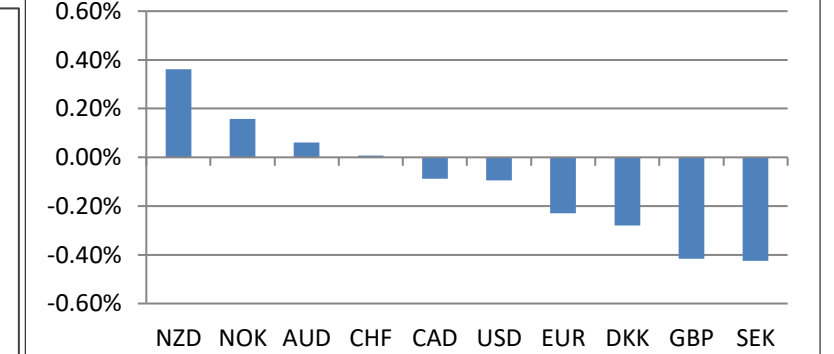
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月24日	22:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	1月 0.16	-0.15
	22:30	米 新規失業保険申請件数	19-Feb 235k	248k
	22:30	米 GDP(年率/前期比)	4Q S 7.0%	6.9%
	22:30	米 個人消費	4Q S 3.4%	3.3%
	22:30	米 コアPCE(前期比)	4Q S 4.9%	4.9%
	23:00	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-
2月25日	00:00	米 新築住宅販売件数	1月 802k	811k
	01:00	英 ブロードベントBOE副総裁 講演	-	-
	01:10	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-
	02:00	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.50-115.50	1.1250-1.1350	129.00-130.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は115円ちょうど付近での狭いレンジ推移。
 東京時間は休日のため動意薄く、上下12銭程度の小動き。海外時間に入ると、米金利や欧州株の上昇に伴うドル買い優勢の展開からドル円は一時115.20を付ける。その後は米国からロシアによるウクライナ全面侵攻について警告されると地政学リスクが高まりリスクオフに。米株安等に伴い円高へ推移すると114.93を付け、115.01レベルでクローズ。本日のドル円は確りとした推移を予想。
 ウクライナ情勢を警戒する必要があるものの、本日発表される米4QコアPCEデフレーターでインフレ継続が意識されるような強い結果であることや、連銀総裁によるタカ派な発言が続くことで、3月50bpの利上げを裏付けることとなり、米金利の上昇が想定される。日米金利差の拡大はドル円のサポート材料となると考えている。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・上遠野